

かんがえるって おもしろい！

がくしゅうひかりのくに

週案例

- ・保育絵本をきっかけに身近な環境や生き物に興味を持ち、共生の意識を高める。
- ・言葉の頭音を取り出す遊びを生活の中に取り入れる。

ねらい

活動内容

環境や援助

からもご活用ください。



ひょうし

製作物や物語を読み取るなどして楽しむ。

ねずみかふえ
だって。



ポットが
お店なんだね。

あれ、いすが
ベットボトルの
ふただ！





しゃかい 2～7ページ

なかよしの しるし

ねらい

身の回りの生き物との
共生について考える

活動内容

- それぞれの標識が何の動物か考えて楽しむ
- 身の回りの生き物について友達と一緒に考える



さっきの印は
「この道は動物が通るから
気を付けて」という印だっただね。

カニが通る
道もあるんだ！

ほくたちの
まわりだと…。？



環境や援助

- * 動物の図鑑などがあれば印に登場した動物がどんな環境で暮らしているのかクラスで調べてみる。
- * 身近な生き物について子どもたちが発表する時間をとる。



保育がひろがるぞう！ポイント

身の回りの生き物の印を作ってみましょう！

ねらい

印作りを通して生き物との関わりを考える

活動内容

・友達と考えを伝え合いながら印作りを楽しむ

ダンゴムシが
たくさんいるから
みんなに教えてあげよう。

踏まないように
そっと歩いて
くれるかも！



優しい印ができそうだね。

環境や援助

- * 「優しい印だね」「生き物たちと仲良くできそうだね」など印について受け止める言葉をかける。
- * 見つけたものを発表し合う機会を作る。
- * 付録の別冊図鑑など生き物図鑑を用意しておく。



かがくの おはなし 8～19ページ

わたろう！ かみの はし

ねらい

紙を折ると強度が増すことがあることを知り、考え、工夫して、やってみることを楽しむ

活動内容

- ・紙の橋を作って予想を楽しむ
- ・友達と相談しながら強い橋を考えて遊ぶ



環境や援助

- * どんな橋だと強そうかなど子どもたちの考えを引き出す。
- * 「よく考えたね！」「かっこいい橋だね」など作った橋や考え方を受け止める言葉をかける。



かず 20～23ページ

おすしを かぞえよう！

ねらい

同じ特徴の仲間を集めることで集合を学ぶ。お寿司の具とごはんを1つずつ対応させながら『余る』『ちょうど』『足りない』という考えを身に付ける

活動内容

- ・お寿司を仲間に分けて数える遊びを楽しむ
- ・シールで一対一対応を学びながらお寿司を作って遊ぶ

お寿司がたくさんできたね。
ごはんか具で余ったものはあった？



どっちも
余らなかった！

ちょうどお寿司が
7個できたよ。



環境や援助

- * 誌面の課題の他にも「緑で四角のお皿のお寿司は？」などさらに発展させて遊ぶ。
- * 『ちょうど』『余る』などの量に関する言葉を意識的に言えるよう促す。



しぜん 24～27ページ

だんごむし めいろ！

ねらい

身近な生き物の生態を再発見し
探究心を育てる

活動内容

- ・だんごむし迷路でダンゴムシの新たな発見を楽しむ
- ・ダンゴムシを観察し意見を友達と伝え合う

解けるダンゴムシと
解けないダンゴムシがいる！



どうしてだろう？

まだ子どもなのかも。



環境や援助

- * 「ダンゴムシがたくさんいるところはどこ？」など迷路で遊ぶ前に子どもたちとダンゴムシを話題にする。
- * 「ダンゴムシも疲れちゃうから一緒に遊んだ後は元の場所にかえしてね」など生き物と遊ぶ際の注意事項をクラスで確認しておく。



ことば 28～33ページ

どんな なまえ？

ねらい

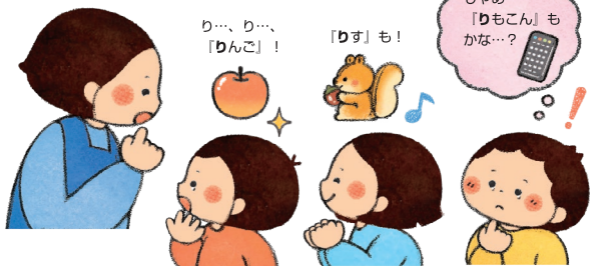
語の中から始まりの音節を取り出し
たり、音節に分けたりすることで音
と文字の対応を学ぶ基礎を作る

活動内容

・頭音を使った自己紹介遊びを楽しむ

先生の名前は「りさ」です。

りから始まる言葉をたくさん教えて！



環境や援助

- * 同じ音をたくさん集め頭音について理解できるようにする。
 - * 自己紹介が難しい場合は「ゆうちゃんの『ゆ』、何があるか教えて！」などクラス全体で取り組む。
- ◎P33のひろがリンクから頭音50音分の画像がダウンロードできます。
4月号付録のあいうえお表もあわせてご活用ください。



せいかつ キラッと ポスター

きょう なに たべた？

ねらい

バランスよく食べる大切さを知り
食への意欲を高める

活動内容

- ・ポスターを見ながら友達と話し合う
- ・給食にある食べ物がどのグループか確認する

今日の給食はカレーライスだね。
どんな食べ物が入っているかな？



環境や援助

*給食の食べ物がどのグループか確認し、「赤黄緑、全部のグループの食べ物があったね。みんなの健康を考えて作ってくれているんだね」など食べる意欲を高められる言葉をかける。